

教務所たより

2025年1月号

2025年1月1日発行

発行人：小松大聖寺教務所長 保木 悦雄

大悲ものうきことなくて

つねにわが身をてらすなり

親鸞聖人 高僧和讃より

旧年中は相続講ならびに教区諸事に多大なるご尽力を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

お念仏を申しつつ、お講の維持と活性化の歩みを共にしてまいりましょう。

本年も変わらぬご理解とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

南無阿弥陀仏

真宗大谷派（東本願寺）

小松大聖寺教務所 所員一同



2025年にあたって

小松大聖寺教務所長 保木 悦雄

お念仏を子どもたちと次世代のご門徒へ

教区としての宗祖親鸞聖人御誕生850年並びに立教開宗800年の慶讃法要を2027年5月22日（土）に厳修することが決定されました。今年は慶讃法要とその事前に行う慶讃事業の計画を策定してまいります。



ただし、今回は法要を勤めることだけが目的ではありません。最も重要なことは、慶讃法要を大切な機縁として、将来を担う子どもたちと次世代のご門徒にお念仏の尊さをお伝えしていくことです。具体的事業としては、各地域において寺院・組門徒会等が中心となり、「花まつり」や「巡回法座」等を企画実施させていただきたいと考えています。この実現のためには僧侶と門徒が緊密に連帯・協働することが肝要です。教えに遇い得た喜びをもって報恩の歩みとして、共に力をあわせて取り組んでまいりましょう。

また、能登の復興を願って、できる限りの支援を継続してまいります。能登の講師による法話冊子（1冊 300円）を発行していますので、是非ともお読みいただき、有縁の方々にもお勧めいただきますようお願いいたします。なお、冊子の売り上げは教区が行う救援金及び支援活動費に充てさせていただきます。



●宗派経常費（相続講金）収納状況について

日頃より法義相続・本廟護持のため一方ならぬお力添えを賜っておりますこと誠にありがとうございます。12月18日現在の宗派経常費（相続講金）の収納状況につきまして、ご報告申しあげます。

小松大聖寺教区宗派経常費御依頼額	109,820,000円
小松大聖寺教区宗派経常費収納額	61,825,669円（56.2%）
小松地区宗派経常費御依頼割当額	74,677,600円
小松地区宗派経常費収納額	44,752,463円（59.9%）
大聖寺地区宗派経常費御依頼割当額	35,142,400円
大聖寺地区宗派経常費収納額	17,073,206円（48.5%）



引き続き、御本山へ御懇念をお運びくださるよう皆様のお力添えをお願いします。

もうしぎょうし

●申経志の扱いの変更について

教務所たより〔2024年8月号〕にて、本山の申経志改正に伴い2025年1月から真宗本廟収骨（東本願寺へのお骨収め）申請の際、申経志2万円が3万円に変更される旨お知らせしましたが、このたび教区財務委員会（12月17日開催）において、教区の相続講・募財の方針として、下記のとおり決定されましたのでご報告します。

これまで当教区の相続講員の真宗本廟収骨に際して、五種申経志として2万円の志納を奨励してきましたが、2025年1月以降は、収骨懇志として同額2万円の志納を奨励いたします。

【事由】

- ・真宗本廟収骨に際して行う法義相続・本廟護持の精神による懇志の志納を継続奨励するため。
- ・奨励する志納金額を従来の申経志2万円と同額にすることにより、相続講員の経済的負担の増大を避け、安定した募財と持続的な講の活動を保っていくため。

●帰敬式法名の授与に関する変更について（再掲）

教務所たより〔2024年8月号〕にてお知らせしたとおり、2025年1月から^{ききょうしき}帰敬式法名の授与について、以下のとおり変更されます。

- ①原則として、男性には「釋」、女性には「釋尼」の法名を授与します。ただし、受式者の希望に応じて、法名「釋」または「釋尼」の選択が可能となります。
- ②既受式者が「釋/釋尼」の変更を希望する場合は、手続きの必要はありません。ただし、「釋/釋尼」を変更した法名紙を希望する場合は、再授与申請（手数料3,000円）が必要となります。

教務所にて帰敬式受式奨励リーフレットを無償でお渡ししていますので、必要な方は教務所までお申し出ください。



●院号法名の申請受付に関する変更について（再掲）

教務所たより 11月号及び寺院教会宛て小松大教発第57号にて通知・依頼しました標記の変更について、下記のとおり再掲載いたします。

院号法名の申請の際、院号「△△院」（漢字2文字）が選定されていない場合は受付できませんので、あらかじめ所属の寺院住職・教会主管者から選定していただいた後、教務所もしくは教務支所へ申請くださるようお願いいたします。

【事由】

- ・院号を所属の寺院住職・教会主管者から選定いただけていない場合、ご本人が生前に本山（教務所）で選定された院号を所属寺にお知らせしていただく、またご家族も院号が授与されていることを知らないまま、葬儀の際に住職から院号を選定していただき、その後、2つの院号をいただいていることが発覚するケースがあるため。
- ・本山では過去に「思し召し」という形で院号を選定していた経緯がありますが、近年は行われていないため。

【今後の院号法名「△△院釋（尼）〇〇」の申請方法】

- 1 法名「釋（尼）〇〇」は、帰敬式（おかみそり）を受けていただけてください。
- 2 所属の寺院住職・教会主管者に院号「△△院」（漢字2文字）を選定いただけてください。
- 3 『院号法名申請書』（教務所・支所備付・教区HPからダウンロード）に必要事項を記入し教務所・教務支所にて申請ください。
- 4 本山から届いた院号法名紙を教務所から申請者へお届けします。
※申請からお手元に届くまで2か月程かかります。

この変更につきましては、相続講並びに募財奨励に関わりますことから教区財務委員会及び組門徒会長会に相談のうえ決定しましたが、住職・教会主管者、世話方の皆様には、趣旨をお汲み取りいただき、今後とも相続講の奨励を賜りますよう重ねてお願いいたします。

●涙あり笑いあり 輪島出身お坊さんの法話に盛り上がる

12月14日（土）大聖寺教務支所において真宗同朋の会報恩講が行われ約70名の参加がありました。勤行は教導会から5名の僧侶が行いました。講師は金沢教区真宗大谷派教師のたかしなおさむ高科修氏より、「南無気づけ 阿弥陀仏 気づきましたの 南無阿弥陀仏のお話です」という講題で法話をいただきました。明治生まれのおばあちゃんに大事に育てられ伝えられた言葉から、能登半島地震で大切な人を一瞬のうちに失う悲しみ・罪の意識・後悔、そして浄土真宗の教えに生きる日々、「『南無阿弥陀仏はマジヤバイ』を持って帰ってください」とお話しされました。

あらためて心を込めて報恩講の準備をして皆でお参りし、聴聞をする楽しさを感じた一日になりました。



講師：高科修氏



常葉会館満堂の参加者

小松大聖寺教区 月間行事予定表【2025年1月】

日	曜日	小松地区 [小松大聖寺教務所]	大聖寺地区 [大聖寺教務支所]
1	水	小松大聖寺教務所・大聖寺教務支所 事務休止 2024年12月27日(金)午後から2025年1月5日(日)まで	
2	木		
3	金		
4	土		
5	日		
6	月		
7	火		
8	水		13:30 知恩講[法華坊町 毫攝寺]
9	木		教務支所事務休止
10	金		10:00 性差別継続学習会[教務支所] 13:30 靖国問題学習会[教務支所]
11	土		
12	日	9:30 十二日講[教務所] 講師 一樂 眞 氏(高堂町 宗圓寺) 講題 「念仏の呼び声」	9:30 北組組講[潮津町町民会館]
13	月		
14	火		
15	水		13:30 是旃陀羅問題学習会[教務支所]
16	木	12:30 教区新年互礼会[小松市栄町 一浪] 午後教務所事務休止	教務支所事務休止
17	金	14:00 是旃陀羅問題学習会[教務所]	
18	土	13:30 北板津組十八日講[川北町橘 本明寺]	
19	日	9:30 日曜講座[教務所] 講師 禧美 尚章 氏(珠洲市 西光寺) 9:30 十日講組御講[川北町中島 静泉寺]	9:30 南組組講[黒瀬町公民館] 10:00 東組組講[林町会館] 10:00 中組組講[中代町 恵照寺]
20	月		
21	火		教務支所事務休止
22	水		13:30 示談講[教務支所] 当番:西組 講師 日野 暁洋 氏(蛭川町 蓮光寺) 講題 「ふかきみ法(のり)にあうために」 15:30 大聖寺地区組門徒会長会[教務支所]
23	木		10:00 第1組坊守会報恩講
24	金	9:30 同朋の会新年聞法会[教務所] 講師 伊藤 俊作 氏(栗生町 静光寺) 講題 「立教開宗から問われること」	14:00 西組組講[南郷町 浄泉寺]
25	土		13:00 寺族研修会 A[教務支所] 講師 南出 香樹 氏(下栗津町 松榮寺)
26	日		
27	月		
28	火		教務支所事務休止
29	水		
30	木		
31	金		13:30 第1組組会[教務支所]

《本山・連区・その他の月間行事予定》

- ・21日(火)14:00～ 北陸連区差別問題研修会事前会議・事前学習会[zoom]
- ・25日(土)10:00～ 吉崎別院 25日講[吉崎別院]

※月間行事予定表の表記については、主に教務所・教務支所での聞法会・学習会・研修会、各組のお講等を掲載しております。諸会議は別途案内します。なお、行事は随時追加されることがあります。

慶讃テーマ「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」